

さくら新聞

明けましておめでとうござります

1月9日 定例会



ミヅレ混じりの小雨降る
寒い朝でした。9時、49名
も集合しました。そのことに
みな感激。「こんな天気が悪く
いときは、年寄りは止めとき
い」と 身体を心配する家
人の声が少なからずあつた

この日は6班に分かれ
て、桜の木の天狗巣に罹つ
た枝の切除作業を行つた。
11時半で作業を終了、お
昼は、いつもとチョット趣
向が違つて、カレー汁、野
菜サラダ、パン2ヶ、バナ
ナ、そして、ぜんざいとい
う予告だったが、いつのま
にか、ぜんざいの代わりで
七草粥にメニュー変更。い
ずれも美味しかつた。あと
はゲームなどで楽しんだ。

ようだが、一俺が行かねば、誰が行く。」と固い決意の程を語れば、「あなたがそこまで仰るのなら、もう引き止めません。どうぞ温かくして行って来てください。」と送り出されてきた面々、互いの意氣軒昂振りを称え合つた。温かくし過ぎて、寒いはずの作業が、汗びっしりと言ふ方もあつたとかで、後が心配。

昨年チャレンジさせていただいた、深坂自然の森と森の家下関の指定管理者の選考に関しては、残念ながら朗報を皆様方にご報告できませんでした。私達プロジェクトチームも名前ばかり、かつこよくつけても、やはりド素人なのだと感じております。

しかしながら、プロジェクトチームメンバー9人は、4月より本格活動を開

の下関深坂さくら友の会が
発足してから今年で6年目
に突入します。その間NPO法
人に衣替えすることにも成
功し、新しい事務所への移
転も完了し、維持管理部会
のメンバーを中心にもうない
「ド素人」とは言わせない
すばらしい新生桜守集団へ
成長してきております。頬
もしいものです。

り上がつております。
深坂さくらえも今年は
4回目を迎えます。さら
に充実したものにすべ
く、早くも部会を開いて、
意気軒昂です、ご期待く
ださい。桜の研修旅行で
すが、先の新聞で東北地
方の弘前、角館方面とい
う一部報道が流れまし
た。一応見積もりを取つ
てみましたが、東北地方
には、下関から行くには

毎回の定例会の昼に出す食事の支度の総監督を仰せつかつております。毎回々々 50 名前後の会員さんには野外作業をしていただいております。この昼食（同じ釜の飯を食う連帯感）の意義は大きいと思つております。調理をする会員交流部会のメン

この度は 私に年頭の挨拶の依頼がありました。昨年夏号の西川専務理事に次いでのことです。

会員交流部会長
城戸 哲郎

城戸哲郎さんは、指定管理者制度のプロジェクトリーダーを務めました。実に誠実な人柄で、黙々と必要なデータや有益な情報を収集して提供し、常にリーダーシップを発揮しプロジェクトをまとめました。おかげで、プロジェクトメンバーも、熱い議論を戦わせながらも、和気藹々、みな最後まで熱心に働きました。

しかし、残念ながら昨年末、結果は落選でした。責任感の強い兄は、そのショックと心労と過労と、いささかタバコの吸い過ぎ（本人否定）のせいか、昨年末から健康を害し入院加療中です。一日も早い健康の回復をみなさまもお祈りください。

(平成廿三年一月)



ダムのある球磨郡水上（みずかみ）村は、九州のど真ん中と言つてもよい。あの秘境と言われた宮崎県椎葉村と境を接し、その県境（村境）は明治の廃藩置県以来140年振りに昨年円満に確定したと言うから驚く。最寄空港は鹿児島空港。毎年各県から一升の米が天皇に献上されているが、今年は43年振りに熊本県では唯一水上村がこれを取り組む。スローライフの絶滅危惧村か。

四方山

今年の桜研修旅行の目的地は熊本県の市房（いちふさ）ダムと決まった。